

日韓共同理工系学部留学生プログラム報告 (2010年4月～2011年3月)

副島健治

1 はじめに

1998年の日韓首脳会議における「21世紀に向けた新たな日韓パートナーシップ」の構築の合意に基づき、具体的な行動計画として「日韓共同理工系学部留学生事業」が立ち上げられた。この事業は、韓国で選抜された高校卒業生を、留学生として日本の国立大学の理工系学部が受け入れるプログラムである。1999年に第一期生の募集が開始され、以来、富山大学はこのプログラムに基づく9人の留学生（以下、「日韓生」とする）を受け入れてきた。（表1）

表1 富山大学日韓生受け入れ実績

年度	期	人数	受入れ学部
2001年度	第2期生	4人	工学部(4)
2003年度	第4期生	1人	理学部(1)
2004年度	第5期生	1人	工学部(1)
2006年度	第7期生	1人	工学部(1)
2009年度	第10期生	2人	理学部(1), 工学部(1)

※ 受入れ学部の（ ）数字は人数

2 2010年度の本事業による富山大学への学生配置について

2010年度の富山大学の理・工学部の日韓生受け入れ可能数は各学科の合計で16人であったが、2010年度の日韓生の配置はなかった。

3 富山大学配置の日韓生の様子

第5期生までが本学の理学部・工学部を巣立って行った。うち第4期生の1人は本学の大学院に進学し在籍しているが、2008年12月に兵役入隊のため休学して帰国し、兵役を終えて2011年4月に復学することになっている。

2010年度の本プログラムの学部在籍者は第7期生（4年生）1人、第10期生（1年生）2人の3人で、富山大学の学生として勉学に励んでいる。

4 日韓共同理工系学部留学生事業受入れ方法検討ワーキング

4.1 構成員

本学における日韓共同理工系学部留学生事業のための準備と円滑な遂行のために「日韓共同理工系学部留学生事業受入れ方法検討ワーキング」（以下「日韓WG」とする）が2001年4月に立ち上げられ、若干のメンバーの交代を経て現在に至っている。2010年度のメンバーは石川義和（理学部、日韓WGの長）、宮武滝太（工学部）、加藤扶久美（留学生センター）、副島健治（留学生センター）、豊本光世（学生支援グループ留学支援チーム）の5人で構成され、副島がコーディネーターを務めている。

4.2 日韓WGのミーティング

2010年度は以下のように、日韓WGのミーティングが5回持たれた。

○第27回日韓WGミーティング 2010年5月18日(火) 15:00-16:00 (場所:留学生センター長室)

参加者:日韓WGメンバー

[報告事項]

- 1) WGメンバーの交代について
- 2) 第26回ミーティングの議事録の確認
- 3) 第10期生の予備教育の振り返り
「日韓共同理工系学部留学生プログラム報告(2009年4月~2010年3月)」より
- 4) 第7期生と第10期生の状況報告

[審議事項]

- 1) 日韓共同理工系学部留学生事業協議会と留学推進フェアへの参加について
- 2) 今年度の日韓留学推進フェアに向けての取り組み
- 3) その他

○第28回日韓WGミーティング 2010年6月29日(火) 16:30-17:40 (場所:留学生センター長室)

参加者:日韓WGメンバーおよび推進フェアへの参加予定者

[報告事項]

- 1) 第27回ミーティングの議事録の確認
- 2) 第7期生と第10期生の状況報告
- 3) 日韓WGのメンバーの確認・顔合わせ
- 4) 2010年度推進フェア参加者について

[審議事項]

- 1) 今年度の推進フェアに向けての取り組みについて
- 2) その他

○第29回日韓WGミーティング 2010年7月21日(水) 15:00-16:40 (場所:留学生センター長室)

参加者:日韓WGメンバーおよび推進フェアへの参加予定者

[報告事項]

- 1) 第28回ミーティングの議事録の確認
- 2) 第7期生と第10期生の状況報告
- 3) 2010年度日韓共同理工系学部留学生事業協議会参加者について
- 4) 日韓フェア用法被完成報告

[審議事項]

- 1) 今年度の推進フェアに向けて
- 2) その他

○第30回日韓WGミーティング 2010年10月20日(水) 13:00-13:45 (場所:留学生センター長室)

参加者:日韓WGメンバーおよび推進フェアへの参加者

[報告事項]

- 1) 第29回ミーティングの議事録の確認
- 2) 第7期生と第10期生の状況報告
- 3) 2010年度日韓共同理工系学部留学生事業協議会参加報告
- 4) 2010年度の推進フェア参加報告

[審議事項]

- 1) 2011年度の推進フェアに向けて
- 2) その他

○第31回日韓WGミーティング 2011年2月24日(木) 10:00-10:50 (場所:留学生センター長室)

参加者:日韓WGメンバー

[報告事項]

- 1) 第30回ミーティングの議事録の確認
- 2) 第7期生と第10期生の状況報告
- 3) 2011年度の日韓生の配置について
- 4) 「日韓共同理工系学部留学生事業の兵役休学に関するアンケート調査」について

[審議事項]

- 1) 来年度の配置獲得に向けて
- 2) その他

4.3 その他の活動

○推進フェア直前最終打ち合わせ 2010年8月26日(木) 10:00-11:00 (場所:留学生センター長室)
推進フェアへの参加者と日韓WGのメンバーの一部で、推進フェア出発直前の最終打ち合わせを行った。

5 日韓共同理工系学部留学生事業協議会

本事業参加の国立大学の全国協議会が、下記の日時・場所で開催された。

日時:2010年8月5日(木) 10:45~17:00

場所:新潟大学有壬記念館(新潟市旭町地区内)

本学からは宮武滝太(工学部)、副島健治(留学生センター)が参加した。

6 日韓共同理工系学部留学生事業推進フェア

本事業(第二次)の第1期筆記試験合格者とその保護者および関係者を対象として、下記の日時・場所で開催された。日本から32の国立大学が参加した(資料展示のみの3大学を含む)。

日時:2010年8月29日(日) 9:30~17:00

場所:韓国国立国際教育院

本学からは松島和房(理工学研究部理学系)、篠原寛明(理工学研究部工学系)、豊本光世(留学支援チーム)の3人が参加し、さらに第10期生の日韓生2人もボランティアで手伝った。

会場では、午前中、全体に対する説明会が講堂で行われた後、午後、本事業(第二次)の第2期生採用予定者を対象として各参加大学のブースにおいて説明が行われた。本学のブースへは12人の訪問があった。

7 おわりに

本事業は10年計画で開始されたプログラムであったが、10年を経たのち第2次事業として継続されることとなった。この事業における日本の国立大学への日韓生の配置は、これまで通り、日本留学希望生徒すなわち日韓生候補生が「志望調査」でどの大学を望んだかによりほぼ決定されるので、受け入れようとする日本の国立大学は、自大学が留学希望者の希望大学として選ばれるように努力することが求められている。富山大学としても、本事業による韓国人留学生が配置されるように努力してきたが、2010年度は配置が得られなかった。

今後は、富山大学として(1)日韓WGの位置づけを本学内の組織としてより明確にし、(2)大学としての国際戦略の観点から富山大学の将来像を考える上で、「日韓共同理工系学部留学生事業」を視野に入れ、全学をあげてのさらなる取り組みが望まれる。